ふかまちのまど

第一五五号　〇七年〇四月一日
発行元　深町町内会連合会
連絡所　☎六三一三八八二

町内会連合会活動報告

町内会連合会会長　高崎修

最終役員会開催（三月十七日）

最後を締め括る役員会で、平成十八年度の事業・決算の報告と平成十九年度の事業・予算計画を検討しました。

十八年度は台風で中止した敬老会を除き、計画どおりに実施出来ました。

十九年度も十八年度と同様に、町民運動会、盆行事、敬老会、市民体育大会の四大行事を中心に実施予定です。

事前準備を十分にとの意見がありました。

定例総会は、四月二一日（土）の予定です。

▲▲

深小だより

三月二十日、深小学校の第六十回卒業証書授与式。七名の児童が大きな希望を胸に巣立っていきました。そして、三月二十三日は修了式。児童は春休みに入りました。

平成十八年度も深小学校・深幼稚園の子どもたちを温かく見守ってくださりありがとうございました。

学校行事への協力、登下校の見守りなど、たくさんのご支援をいただきました。

四月六日からは新学期です。今年度から本校に、保護者や地域の皆さんが要望されていた「放課後児童クラブ」が開設されました。これは三年生以下の昼間留守家庭の児童を放課後、土曜日、夏休み、冬休み等に預かるというものです。

来年度からは「放課後子ども教室」（文科省）の開設も予定されています。この運営についてはまた地域の皆さんのご協力をお願いしなければならないと考えています。

どうか今年度も深町の子どもたちのためにご支援をよろしくお願いいたします。

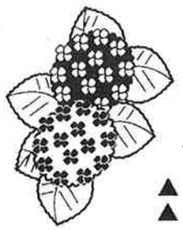
一年間廃品回収へのご協力ありがとうございました。

第三回目の廃品回収が三月十一日にありました。たくさんのご協力をいただきましてありがとうございました。収益金は有効に活用していきたいと思います。

来年度も年三回廃品回収を予定しています。

ご協力をよろしくお願いします。

▲▲



歩く会にご参加を

健康づくり推進員　高崎修

ハーベストの丘と取水場（上組）

日時と行程

四月七日（土）

上組公民館八時三〇分出発～

ハーベストの丘（旧山中公園）

九時着　九時三〇分発～

坂谷取水場十時～

太郎谷ゴルフ場十時三〇分～

上組公民館十一時三〇分着

ハーベストの山荘群を眺望し、太郎谷へ下ります。ゴルフ場からはバスで帰る方法も有ります。

▲▲

「ふかまちのまど」　ホームページのアドレスは
http://www.jcat.ne.jp/~fuka/top.html

深町子どもを守る会

子どもをみんなで守りましょう

○午後四時十五分頃下校します。

深小の子どもは

※日によって、異なることがあります。

○近くで、遠くで、みんなで見守りましょう。

○あいさつ、声かけをしましょう。

広島県議会議員一般選挙

投票日　四月八日（日）

※中之町南の方は、今回から深小学校が投票所となりましたので、お間違いのないようにしてください。

▲▲

お知らせ

壮青会　藤川　敏和

深小学校校長籔本先生より子供達のためにと太鼓三張を寄贈して頂きました。

有難うございました。

▲▲

子ども会だより

子ども会会長　小川和彦

桜花の候、町内の皆様には、平素より子ども会活動に格別のご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、三月二十日、七名の子ども達が深小学校を卒業いたしました。希望にあふれる眼差しで中学校生活への抱負を語る子ども達に幸多かれと願うばかりです。

そして多数の参加をいただき開催した「六年生を送る会」を終え、十八年度の子ども会活動も無事終了する事が出来ました。これも偏に皆様の温かいご支援の賜物と感謝しております。

十九年度も、子ども会新スタッフ一同、子ども達と力を合わせて活動して行きますので、何卒あたたかいご支援、ご鞭撻をお願いいたします。

▲▲

短歌・俳句・詩

中組　仲峠講　竹内ひろみつ

妻は病み
臥せ居る日々は味気なく
インスタントラーメン
啜りゐるわれ

木枯らしの
音聞き過ごす夜の部屋
猫わが膝で身じろぎもせず

腹の立つそれより先に悔しけり
税制調査の長の顔見て

▲▲

ピッコロだより

ハウスの中は〝春〟

ハウスの中の棚の上は、多品種の花が並んでいます。陽気な日には、あちらこちらで開花し、パンジーの次に何を植えようかと迷うほど・・・。ペチュニア、マリーゴールド、クモマグサ、などとてもきれいに咲いています。野菜の苗も遅霜の心配のないように少し時期をずらして植えられた苗もいよいよ四月中旬頃には限りがあります。野菜苗には数に限り求め下さい。これから最盛期買い求めを迎えます。ピッコロの皆様は頑張っています。

▲▲

謹んでお悔やみ申し上げます

河原キクヨ　様
（下組　三班）

九二歳
三月十日

深町各種団体四月行事予定

◆町内会連合会定期総会　二一日
◆上組町内会定期総会　十五日
◆中組町内会定期総会　十八日
◆下組町内会定期総会　十五日
◆小学校・幼稚園就任式
◆入学式　六日
◆集金日　七日
◆退任式　十日
◆貯金日・入園式（幼）　十一日
◆身体測定　十二日
◆CRT検査・視力、聴力検査　十三日
◆尿検査・諸費集金（幼）　十七日
◆参観日・寄生虫検査　十九日
◆PTA総会　二十日
◆後援会総会（幼）　二三日
◆眼科検診・保健指導（幼）
◆全国学力・学習状況調査　二四日
◆読み語り　二五日
◆家庭訪問　二六日
◆なかよし遠足　二七日
◆水館中学・高校
◆中・高始業式　六日
◆中・高入学式　七日

展望席

数年前、「ダンゴ三兄弟」という歌が爆発的人気で流行りましたが、あっという間に世間から姿を消したと思っていたら、なんと昨年はその姿を変えた、福島、和歌山、宮崎の「ダンゴ（ウ）三知事」が表舞台に現われて世間を騒がせました。この知事さん達は、県政よりもダンゴ作りの裏技に力が入っていたようです。特に福島のダンゴには甘いおサトウ（佐藤）がよく効いていたらしい？

公共工事入札の談合は税金にも関わる問題ですが、「談合は必要悪」とも言われているように脈々と日本の経済活動に受け継がれているのか。先頃も、「談合決別」宣言をした大手ゼネコンの一部が談合事件で起訴された。

「花より談合」が美味しい？

某県知事選挙に出馬したHさんも「談合は必要悪」と、そのまんま本音（？）とも受け取られる発言をして、慌てて釈明しましたが、そのまんま知事に当選。圧倒的な人気としがらみの無いH知事に、談合一掃の入札制度改革に期待が寄せられます。

談合即ち入札妨害という概念が常識化していますが、辞書を開いてみると、「談合とは話し合い」と書いてあり、「入札妨害」とは書いてありません。言うまでもなく、話し合う事は、お互いの意思疎通を図り、お互いを理解し、円滑な人間社会を営んでいくうえで、とても大切な事です。話し合いの無いところからは色々な問題も発生します。

入札とは関係の無い、名実ともに本来の世の中を明るくし、活力が生まれる「談合＝話し合い」を大いにしたいものです。

深町六年史（十八）

下組　小林　徳蔵

三十二章　天の時、至る

期、深の小天地の外では、その時、大型土木工事が進み、空港建設、山陽新幹線、高速道路、自動車道建設、島内の流通構想、改造計画、実現されれば、国土計画列島、高速自動車道、波及効果は、広範囲にわたります。天の時は熟し、深のリーダー役を任せられました。深町地域になすべき手探りの時期、深町は、先ず機運を盛り上げようと、文字通りの情報を発信しつづけることにしました。

平成四年十一月二十日には「協議会通信1号」を出しました。

次章は、1号の記録のダイジェストです。（一部補筆し、記事の配列も一部変更しました）

三十三章　地の利を得る

1　皆さまへ

晩秋の頃となりましたが、皆さまお変わりありませんか。深町協議会通信1号をお届けします。（以下、役委員氏名紹介、省略）

2　時代は動く

▼深には、深が過疎地になるかも知れない！　この危惧が消えて平成二年の国勢調査、深の零歳児～五歳児合計が三四名という数字はいっこうに好転しません。（人数は平成二年現在）

平成十九年三月　市議会定例会

三原市長の「施政方針と提案理由の説明」（一部抜粋）

本市においては、国の三位一体改革による地方交付税等の削減、扶助費、公債費などの義務的経費の増加により引き続き厳しい財政状況にあるが、合併後三年目として、一体的なまちづくりの姿を形成するとともに、市民がゆとりと豊かさを実感し、安心して暮らすことのできる社会の実現をめざす。

このため、長期総合計画を着実に実施し、特に産業の活性化の維持促進と住民福祉の向上に意を注ぎ、予算編成を行った。

その主な内容について概要を説明する。

第一点は、「人がふれあい、ともに参画するまちづくり」

○人権尊重を基本理念として、すべての市民が生き生きと暮らせるまちづくりをめざす。

○住民自治あり方検討委員会を設置し、「住民自治あり方基本構想」を策定する。

○「市民協働のまちづくり指針」を策定する。

○「男女共同参画プラン」に基づき、人づくり・環境づくり・社会づくりに努める。

第二点は、「人を育む教育・文化のまちづくり」

○新たに策定した「生涯学習推進計画」を具体的に進める。

○放課後こども教室を、十五校を目標に順次開設する。

○放課後児童クラブは、新たに二か所開設し、十五かたとする。

○学校教育の充実施策を定める。

○造船王氏跡指定五〇周年記念事業として、全国山城サミット「芸術文化センターを開催する。

○三原市芸術文化センターが十月十四日に開館し、記念事業として、中村紘子ピアノリサイタルを行う。

○スポーツ関係の功労表彰制度を新たに創設する。

第三点は、「健やかに暮らせるやすらぎのまちづくり」

○「次世代育成支援行動計画」に基づき、子育てを社会全体で支える取り組みを推進する。

○児童手当を本年四月から、○歳から二歳児まで乳幼児加算し、一万円を加算し、一万五千円を加算する。

○円仕事や家事などと育児の両立を地域で支える、ファミリー・サポートセンターを設置する。

○平成二十年四月の開設を目指し、幼保連携型の「大和こども園」の建設に取り組む。

○敬老の優待乗車証制度は、本年四月から市内全域に拡大する。

○一日から一〇〇円を負担していただくことになる。

第四点は、「自然と共生する快適で安全なまちづくり」

○良好な環境を保全し創造するため、地域環境マップの作成などの啓発活動を行う。

○「防犯指針」、「防犯アクションプラン」を策定し、関係機関が一体となり、防犯施策の推進に努める。

○自主防災組織の育成・支援の一環として、新たに助成金制度を創設する。

▼ところで、ここにうれしいニュースがあります。今、建設中の高速自動車道にはインターチェンジが、頃郷木の実現が好入れられる高速道路と道の立地と出の料はとイ内のをちなかくたちを、にし小学校児童幼稚園児の私件数はは、ま小学校児童幼稚園移の条件たとら、れ高速道路工事、高速道路工事に関して、成工事、建築工事に関して、成四年十一月十二日に協定を結び、協定書の全文は別紙の通りです。（別紙は省略）

▼深町の道路整備も並行して実施したいものです。

三十四章　何を残せるのか

続いて、平成四年十二月十三日発行の「協議会通信2号」を抜粋で紹介します。（一部補筆）

1　初冬の候

▼初冬の季節となりました。や、年末のあわただしさが聞こえてくるようです。皆さま、お変わりありませんか。「協議会通信2号」をお届けします。

2　協定書調印

協議会は、学校法人山中学園が三原市字竜王地先で施工する山中学園校舎、グラウンド敷地造成工事、建築工事に関して、成四年十一月十二日に協定を結びました。（別紙は省略）

3　さあ、準備工事

▼伐採工事始まる（省略します）

②①伐採範囲（省略します）

工事期間　平成五・一・十四～平成四・十二・末年始まで。年

▼

①仮設置工事も着手

②設置場所は、藤井川に架かる今、橋の上流側。

③備考　仮設橋は、年末年始の墓参にも利用できます。

4　準備工事という用語

深の場合でいえば、「山中学園校舎、グラウンド敷地造成工事」が本命の工事名で、これに付随して必要なのが深町十六号線道路改良工事です。

道路改良工事とは、本命工事のためのいくつかの準備工事のことです。

5　市道道路改良工事

正式工事名は、市道一六号線道路改良工事です。場所は、中川組干講。県道から山中へ入って工事は、藤井川へ架橋。

十一月十二日に始まっています。

①交通事故防止具体策

②

③

④

⑤

⑥

（具体策は省略）

この道は、高等学校正門に通じる登校道路です。

6　子ども達へ何を残せるか

私たちは、子どもたちへ何が残せるでしょうか。

（次号へつづく）

第五点は、「活力ある産業のまちづくり」

○農業生産法人の設立や経営の安定化を図り、農業の担い手の育成に努める。

○林道整備事業補助制度を新たに創設する。

○中小企業融資預託金を五億円から六億円に引き上げる。

第六点は、「交通・情報・観光基盤の充実した交流のまちづくり」

○中之町和久原川の新橋の実施設計を行い、併せて関連する中之町六号線の道路改良工事を進める。

○市営バス事業は、平成十九年四月一日、平成二十年四月一日の二回に分けて段階的に、民間移譲を行う。

○平成十九年度、広島県から旅券手数料（パスポート事務）や身体障害者手帳の交付申請事務・権限の移譲が行われる。

○「行財政改善大綱」に基づき、市民と行政の協働のまちづくりを積極的に推進する。

○一般会計予算の総額は、四四九億六、二〇〇万円。

※この施政方針に対する総括質問等は、三原市議会広報特別委員会発行の五月一日付「市議会だより」をご覧ください。

（資料提供　市議会議員　村上徹郎氏）

▲▲

「けんこうですか？」

深町阿弥陀平

とうげい家　丹花義晴（たんがよしはる）

けんこうですか？

あなたが食べる食べ物は、体がよろこんでいますか？　食べ物が、のどを通るとき、ちょっとよろこぶだけで、あとは、体中が泣いていませんか？

私は、この頃、月に一回は、山陽道を通って広島にいきます。途中に「奥屋（おくや）」というパーキングエリアがあります。帰りにそこで、水を汲みます。名水というひょうばんです。そこで、よく知らない人と話をします。

「どこから来られたんですか？」と聞いたり聞かれたりします。

あるとき、

私、「私、三原のどちら？」

男性、「三原市からです」

私、「深町です」

男性、「えー!!」　あそこは、里芋がすごいんです。すいかも、砂地でできたのとはちがった、もすごいおいしさがある。

私、「柿でしょ、桃でしょ。米も最高です（^^♪）」

男性、「米は、私、新潟の栃尾というところから、通信販売で玄米を買っています。竹液（ちくえき）などぼかし、それと山の木の葉などで作っているんです。見学にも行きました。信頼できますよ。

ええ、値段は安心して食べられるものとしては、安いですよ。三〇キログラムで一八九〇〇円です。それと送料」

男性、「深町でそういうものがあれば紹介してもらえませんか？」

私、「もちろんです。よろこんで」

深町は、だれがみても、水も空気も土もいい。腐葉土をつくる山もあります。

深町にできた施設の吉永宣明先生と話しました。

「施設で、畑も作りたい。焼き物は、深の土を使って、深町の薪（まき）を使ってつくりたい（^^♪）」

深町のみなさん、けんこうですか？　よい作物を作って、みんなを安全でよい作物を作って下さいね。

元気にしてあげて下さいね。

▲▲